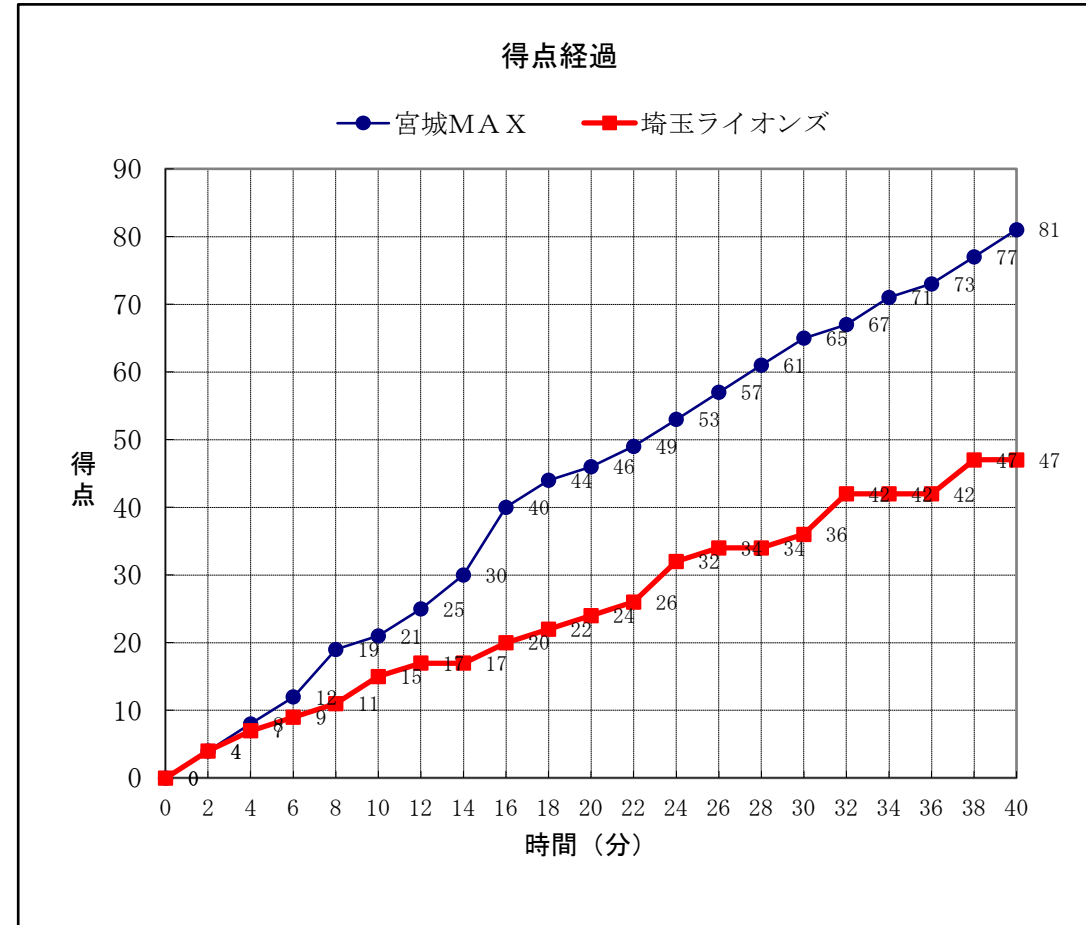


「東日本大震災」被災地復興支援 内閣総理大臣杯争奪  
第40回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会  
個人トータル表

準決勝		2012年5月3日 13時20分開始		東京体育館 M - 6													
◎ 宮城MAX (東北)		81	( 21 1クォーター 15 25 2クォーター 9 19 3クォーター 12 16 4クォーター 11 )		47	埼玉ライオンズ (関東)											
番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
4	豊島 英 (2.0)	4	0	2	0	-	-	0	4	斎藤 智之 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
* 5	藤本 怜央 (4.5)	39	1	16	4	-	-	0	* 5	永田 裕幸 (2.0)	4	0	2	0	-	-	4
* 6	東海林 和幸 (1.0)	0	0	0	0	-	-	1	7	水本 栄喜 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-
7	五十嵐 雄也 (2.5)	0	0	0	0	-	-	0	8	蔵持 弘 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
8	佐藤 聡 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0	9	原田 翔平 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0
* 9	増渕 倫巳 (3.0)	10	0	4	2	-	-	1	10	森田 俊光 (2.0)	0	0	0	0	-	-	0
* 10	中澤 正人 (4.0)	18	0	9	0	-	-	2	* 13	篠田 匡世 (3.5)	10	0	5	0	-	-	4
11	加藤 芳博 (3.0)	0	0	0	0	-	-	0	* 15	青木 大 (1.0)	0	0	0	0	-	-	2
12	大槻 智志 (4.0)	0	0	0	0	-	-	0	* 17	大館 秀雄 (4.0)	18	0	9	0	-	-	4
13	高橋 浩則 (2.5)	0	0	0	0	-	-	1	18	河田 直人 (2.0)	0	0	0	0	-	-	1
14	向後 寄夫 (1.5)	2	0	1	0	-	-	1	* 19	三元 大輔 (3.5)	10	0	4	2	-	-	2
* 15	藤井 新悟 (1.5)	8	0	4	0	-	-	1	20	宮澤 厚史 (2.0)	0	0	0	0	-	-	0
16	菅原 志朗 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0	21	佐藤 渉 (4.5)	5	0	2	1	-	-	0
コーチ	岩佐 義明								コーチ	水本 栄喜							
Aコーチ	石川 大介								Aコーチ	松田 伊代							
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	原口 愛子							
マネージャー	岩佐 絵里								マネージャー	永盛 雅子							
マネージャー	会田 優								マネージャー	三木 ゆかり							
	#VALUE!									#VALUE!							
合計		81	1	36	6	0	0	7	合計		47	0	22	3	0	0	17
主審:		杉山 兼芳															
副審:		岸 良太郎															
副審:		吉安 ゆみ															



〔戦評〕

スターティングメンバー

宮城・#5・#6・#9・#10・#15 / 埼玉・#5・#13・#15・#17・#19

1Q ジャンパーは宮城#5 vs 埼玉#17。宮城が制して、宮城#5インサイドにて先制。すかさず埼玉もインサイドにて反撃。両チームとも固いゾーンディフェンスで守り、オフェンスはインサイド勝負!!。宮城は#5・#10にボールを集め得点していき、対する埼玉は#13・#17を中心に得点を重ねる。白熱したシーソーゲームを繰り返すが、安定したシュート力を持つ宮城が一步リード。終盤にさしかかり、宮城#5が3Pを決める! 対する埼玉も、終了10秒前#5が2Pを決めて、21対15で1Q終了。

2Q 両チームともに同じメンバーでスタート。1Q同様お互いインサイドでの勝負。埼玉はちゅうばんメンバーを変え流れを掴みたいところだが、宮城#5がインサイドにてバスケットカウント。フリースローも決め、3点プレーで流れを渡さない。埼玉もインサイドでシュートまでもっていくが、リングに嫌われて得点がのびない。悪い流れを断ち切ろうと埼玉はTOをとる。しかし、宮城の勢いは止められない。埼玉は流れをとり戻すためにディフェンスをがんばるが、オフェンスリバウンドをとられ点差が広がりに46対24で2Q終了。

3Q 埼玉の速攻で後半開始。序盤は互いにシュートを決めて、シーソーゲームが続く。3Q終盤にゲームが動き始める。宮城#4の味方を生かすプレーが冴え徐々に点差が開く。しかも、埼玉がインサイドに入り切れずミドルシュートを打たされ得点がのびない。一方、宮城はしっかりとセットプレーで得点を重ねる。両チームの差はよりひらいてしまい、65対36で3Q終了。

4Q 埼玉インサイドからの得点でスタート。すかさず宮城も速攻などの速い展開で得点を重ねる。第4Qも中盤に差し掛かり点差が縮まらないため、埼玉はマンツーマンディフェンスをくりだす。しかし、走力で勝る宮城はマンツーマンDFを崩し速攻。埼玉も最後まで自分たちのプレーを全力で貫いたが一步及ばず81対47で宮城勝利。

(担当:横瀬/西村)